ホームページ http://www.shinjuku-shinbun.co.jp

週刊 新宿新聞 THE SHINJUKU SHINBUN

11月25日
2018年（日曜日）
（第2061号）

社章

発行所 株式会社新宿区新聞社
編集・発行人 喜田 勇
新宿区西新宿1－1－25 ワコーレ新宿第2ビル

PRESS

購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊64周年 ☎3369―6195 FAX3369―0759（昭和32年12月4日第3種郵便物認可）

主なニュース

❷面 新宿区長選・吉住氏圧勝の理由
❹面 東商新宿支部・おもてなしの街づくり
❻面 東商豊島支部が設立50周年
❼面 東商渋谷支部・ファッション・ITの魅力発信
❽面 副都心地区・五輪後の再開発で競う

拍手で迎え入れられ感慨ひとしおな吉住区長

新宿区長選

新宿区長選挙は11日に投開票。現職の吉住健一氏が4万9千353票を得票、新人の野沢哲夫氏（2万3千973票）をダブルスコアで下す圧勝劇となった。吉住氏は自公や連合東京などの推薦を得て組織票を固めた。また野党共闘の実現を危機に組織がフル稼働。無党派層からの支持も集め前回選挙の3万9千27票より票を1万も伸ばした。一方、野沢氏は野党共闘当選を確実にした。約百名が待機していた吉住選挙事務所は当確の声びに沸き立った。吉住氏は支持者らと握手を交わし、万歳三唱。山田美樹、鈴木隼人の両衆院議員、古倉正美・前都議、秋田一郎、古城将夫の両都議らが大

現職 吉住氏が2.5万票の大差

「6野党統一」だが現職に負ける

当 吉住 健一（現）自民・公明推薦 4万9，353票
野沢 哲夫（新）共産・自民・社民支持 2万3，973票

※

11日午後10時過ぎ、選管からの速報が発表、90％の開票率で、前回票を上回る4万5千票を超える票を獲得し、吉住氏は当選を確実にした。約百名が待機していた吉住選挙事務所は当確の声びに沸き立った。吉住氏は支持者らと握手を交わし、万歳三唱。山田美樹、鈴木隼人の両衆院議員、古倉正美・前都議、秋田一郎、古城将夫の両都議らが大

量得票での勝利を祝う言葉を述べた。

吉住氏は「野党統一候補との戦いで心配をかけた」と述べ、「区民全体の健康寿命を伸ばしていく。JR新宿駅周辺に続き、今後は高田馬場、新大久保駅前の地域の回遊性向上に向けた取り組みを進めていく」と2期目の抱負を語った。

2面へ続く

エンタメで競う！駅前の大再開発

副都心の新宿・渋谷・池袋ではエンターテイメントを軸に駅前再開発で競っている。渋谷では駅前再開発を手掛ける東急グループが来年秋、47階駅ビルの渋谷スクランブルスクエア東棟と18階建て「渋谷フクラス」を開業する。一方、新宿・歌舞伎町では48階建てのエンタメ・ホテル施設が22年8月の完成をめざす。

建設中の渋谷フクラス（中央左）・スクランブルスクエア東棟から撮影

渋谷駅ビル47階と東急プラザ跡地周辺開発

渋谷スクランブルスクエア

来年秋に開業！

東急プラザ跡 "フクラス"と命名

渋谷駅前の新たなランドマークビルとなる地上47階地下7階建て（高さ約230㍍）の駅ビル「渋谷スクランブルスクエア東棟」の開業が来年秋に決まった15日、東急グループが記者会見で公表した。

目玉となるのが14・45階～屋上にかけての展望施設「渋谷スカイ」だ。日本最大規模の屋上展望空間（約2千5百平方㍍）、雨天でも楽しめる屋内展望施設からなる。

15階には、「問いの感性」をコンセプトにした産業交流施設「SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）」を設ける。2百名規模のイベントスペース「QUEST」、グループワークに特化した活動拠点の「WORK」、交流・対話の場「SALON」、全体の結節点となる「TOWNHALL」を整備。ここでは東京大学、東京工業大学、慶應義塾大学、早稲田大学、東京都市大学の5大学と連携した取り組みも行うという。

地下2階から地上14階の16フロアは営業面積約9千7百坪の都市型商業施設「アソビバ」となる。

上層の17～45階がオフィスフロア（賃貸面積約2万2千坪）となるが、IT企業のサイバーエージェント（5フロア）、ミクシィ（5～7千坪）、丁目駅前地区だ。15日の記者会見で、ビル名が「渋谷フクラス」となると公表された。渋谷や同ビルに訪れるすべての人々の幸福を大きく膨らませていきたいという思いを込め「フクラス（膨らす）」にしたという。

9～16階の約5千坪のオフィスフロアにはIT企業のGMOインターネットグループが入居。17階の一部は産業進出支援施設となる。2～8階と17・18階には新生・東急プラザ渋谷が入居。地下1階と地上2・3階の一部には三井住友銀行が入居。1階には空港からのリムジンバスが乗り入れられるバスターミナル、観光支援施設が整備。災害時の帰宅困難者の受入れスペースは6百人規模を予定している。

▼同時期にはフクラスが開業

スクランブルスクエア東棟と同時期（19年秋）に開業するのが地上18階地下4階建ての道玄坂一丁目駅前地区だ。15日の記者会見で、ビル名が「渋谷フクラス」となると公表された。渋谷や同ビルに訪れるすべての人々の幸福を大きく膨らませていきたいという思いを込め「フクラス（膨らす）」にしたという。

9～16階の約5千坪のオフィスフロアにはIT企業のGMOインターネットグループが入居。17階の一部は産業進出支援施設となる。2～8階と17・18階には新生・東急プラザ渋谷が入居。地下1階と地上2・3階の一部には三井住友銀行が入居。1階には空港からのリムジンバスが乗り入れられるバスターミナル、観光支援施設が整備。災害時の帰宅困難者の受入れスペースは6百人規模を予定している。

施設「アソビバ」となる。

上層の17～45階がオフィスフロア（賃貸面積約2万2千坪）となるが、IT企業のサイバーエージェント（5フロア）、ミクシィ（5～7千坪）、丁目駅前地区だ。15日の記者会見で、ビル名が「渋谷フクラス」となると公表された。渋谷や同ビルに訪れるすべての人々の幸福を大きく膨らませていきたいという思いを込め「フクラス（膨らす）」にしたという。

9～16階の約5千坪のオフィスフロアにはIT企業のGMOインターネットグループが入居。17階の一部は産業進出支援施設となる。2～8階と17・18階には新生・東急プラザ渋谷が入居。地下1階と地上2・3階の一部には三井住友銀行が入居。1階には空港からのリムジンバスが乗り入れられるバスターミナル、観光支援施設が整備。災害時の帰宅困難者の受入れスペースは6百人規模を予定している。

歌舞伎町ミラノ跡

48階ビルは22年に完成

ホテル・劇場・バス乗降場整備

一方、新宿・歌舞伎町ミラノ跡地（約4千6百平方㍍）では、地上48階地下5階建て（高さ2百25㍍）のエンタメ・ホテル施設が開発される。建築主は東急電鉄、東急レクリエーション。11月に開かれた地元向けの説明会で、来年8月から本体工事に着手し、22年8月の完成をめざすことが明かされた。

地上48階は設備階を入れての階層。上層17～47階の31フロアはホテルとなり、訪日観光客の受け皿となる。1階には空港からのリムジンバスが停められるバス乗降場も整備される。

人を呼び込むためのエントランスが設けられる。地上2階は建物利用者以外も使用できる駐輪場となる。1階の一部と3～6階が商業店舗。8～11階が約850席の劇場、12～15階が約8スクリーンの映画館となる。またシネシティ広場に面した出入口部分には屋外ステージが設置される。再開発に合わせ開発地に接する西武新宿駅前通りはリニューアルが図られる。

またリムジンバスの乗り入れルートを確保するため、職安通りと西武新宿駅前通りの交差部の工事も東急グループが事業主となり行う。ミラノ跡開発完成前の20年五輪までに平面交差が実現、現在、分断されている補助72号と西武新宿駅前通りが繋がる。

ナイトタイム エコノミーの推進

新宿観光振興協と協業

渋谷区長 長谷部 健

来年1月には、新宿観光振興協会と協業し、飲食店を回遊できるバウチャーの発行を始めるほか、各種イベントも企画予定です。

さらに、3人の渋谷区観光大使ナイトアンバサダーを通じて渋谷の夜の魅力の発信・向上にも努めており、「東京のナイトライフ」に貢献していきたいと考えています。

原宿や渋谷など訪日外国人の人気が高いエリアを有する渋谷区では、ナイトタイムエコノミーの振興に積極的に取り組んでいます。

年明けから事業推進

新宿区長 吉住 健一

新宿は、風情豊かな居酒屋の集積など人々が触れ合う横丁文化が根付いているまちです。一方、初めて日本を訪れた外国人にとっては、「お通し」などの習慣が戸惑いを招いています。新宿の居酒屋文化の魅力を活かし、国際観光都市としてのブランド力を高めるため、近隣区と連携したナイトタイムエコノミー推進事業を年明けに実施します。外国人観光客の方に、新宿の夜を満喫していただき、繰り返し訪れていただけるよう、新宿の魅力づくりに取り組んでまいります。

アフター・ザ・シアター懇談会を開催

豊島区長 高野 之夫

豊島区では文化を軸にまちづくりを総合的にデザインし発信する国際アート・カルチャー都市を目指しています。TAAF・TIFFCOMや東アジア文化都市、オリンピック・パラリンピックなど国際的イベントによるインバウンド増が見込まれる中、アート・カルチャー鑑賞後の余韻を安全安心に楽しめる場の創出を目指し「アフター・ザ・シアター懇談会」を開催。今年度は夜間の観光資源に関する観光庁モデル事業に大塚駅周辺が選定されるなど広がりを求めていきます。